

# 柏市次世代育成支援後期行動計画の概要

## ○計画の基本的な考え方

- 行政が主体となって進めてきた子育て支援環境の整備・維持を継続しつつ、市民が主体となって、自らの意思と行動により目の前にある問題を解決していく力を育てていく「自立」した地域社会づくり
- 地域社会における人間関係づくりと支援の広がり

## ○現状と課題

- 合計特殊出生率の低下（人口置換水準2.1を下回る）平成6年 1.31→平成20年 1.24
- 核家族化の傾向
- 子育て期に近所とのつきあいが希薄な状況
- 経済不況による生活不安の増大や働き方の変化
- 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現
- 市民に望まれる施策の仕組みや水準に向けた、市民・行政の協働
- 地域社会とそこに住む高齢者まで含めた全世代の人々の参加
- 個々の子どもへの働きかけと居場所づくり

## ○計画の期間

- 平成22年度から平成26年度の5か年計画
- 見直しの必要性が生じた場合には計画期間中であっても、見直しを行う

## ○後期計画の特徴

- 基本理念の実現を目指すため、6つの基本目標に沿った施策・事業を展開
- 次世代育成支援をより具体的・重点的に推進するために、今後力を入れて取り組む事業を5つの重点プロジェクトとして位置づけ

## 基本理念

ともに寄り添い支えあい、  
生きる力・育てる力をはぐくみ  
かしわ

## 6つの基本目標

### 1 地域ぐるみで子どもを育てていくために

- 情報提供・相談体制の充実を図り、子育てについて学びあえる機会の拡充
- 交流できる機会を増やし、居場所づくりを進める

### 2 仕事と家庭を両立するために

- ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発活動や企業への働きかけを行う
- 保育園、こどもルームの整備などを通じて、待機児童を解消する。

### 3 親子が健康に過ごすために

- 保健、医療、福祉、教育の各分野と連携を図ることで、母子保健、思春期保健、食育施策に取り組む。

### 4 心身ともに健やかに成長し、学びを深めていくために

- 乳幼児期の教育の充実を図り、学齢期においても、学力の向上、豊かな心の育成、健やかな体の育成を図る
- 学校、家庭、地域が連携を図ることで、子どもの主体性を伸ばし、社会性を育てていく

### 5 すべての子どもが自分らしく成長できるように

- ひとり親家庭、障がいを持つ子どもへの支援など、一人ひとりの状況に応じた支援を推進
- 児童虐待を未然に防ぐために、関係部局との連携と取組みを強化

### 6 安全安心に生活するために

- 関係機関、地域が連携を図ることで、交通安全、防犯などの取組みを強化
- ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを推進

## 5つの重点プロジェクト

### 重点1 子どもの居場所づくりと子どもの成長支援

- 子どもたちが集い、体験・活動することのできる居場所づくり
- 外遊び、自然のなかでの遊びを、子どもたちが主体的に経験できる場づくりを市民と協働で推進
- 世代間交流や地域ぐるみの取り組みなどを支援

### 重点2 保育環境の整備と待機児童の解消

- 多様化する保育ニーズに応えながら、質と量の両面から保育サービスを充実
- 待機児童の解消

### 重点3 配慮が必要な児童・保護者への支援

- 子どもの発達や障害、不登校、虐待等への相談や支援について、一人ひとりの子どもの状態や状況に応じて支援できる体制整備
- 様々な課題に横断的に取り組むための関係機関・団体の連携強化

### 重点4 子どもの安全の確保

- 子どもたちを犯罪や交通事故などから守るために、ハード・ソフト両面から安全に配慮した取組みを推進

### 重点5 市民との協働による計画推進と情報提供

- 次世代育成支援を市民との協働により推進
- 市民の意見を反映した計画の進行管理
- 市民ニーズに即した情報発信

## 計画の推進体制

- 関係団体の代表、公募市民、学識経験者等から構成する「柏市健康福祉専門分科会（児童健康福祉専門分科会）」を設置し、計画の進捗状況の点検や計画の評価・見直しを行う
- 子育て支援活動団体の代表者等から構成する「かしわこどもネットワーク会議」において、計画の進捗状況の点検や点検の評価・見直しの他、市民提案を具体化する方法などを検討する

